**幼児礼拝11月②**

**聖書③みんなが待ち望んだイエス様の誕生**

今日は「みんなが待ち望んだイエス様の誕生」というお話しになります。

今日は「神様の子」であるイエス様のお話しをします。

イエス様のお母さんはマリヤ、という人です。

イエス様のお母さんのマリヤはとても優しい人でした。

なによりも、神様を心から愛する、心のきれいな人でした。

イエス様が生まれる時、神様の奇跡が起きました。ある日突然、マリヤの前に天使ガブリエルが現れました。そして、マリヤに向かって

「おめでとうございます。あなたは男の子を産むでしょう。その子をイエスと名づけなさい。その子は神の子であり、王様となるでしょう」

と、言いました。

マリヤはとても驚きました。なぜならマリヤはまだ結婚をしていなかったからです。でもマリヤは、「神様のおっしゃる通りにいたします」と、神様を信じました。そして、マリヤのお腹の中に、イエス様の命が宿ったのです。

マリヤは、お腹が大きくなってくると、夫のヨセフと一緒に、自分たちの生まれ故郷であるベツレヘムに帰りました。しかし、どこも宿屋はいっぱいでしたので、二人は仕方なく、馬小屋に泊まることになりました。

その夜、神様と人類が長い間準備して待ち望んだ神の子イエス様がお生まれになりました。神様はどれほど喜ばれたでしょうか。

本当ならアダムとエバが神様の子供として神様と一緒に住むはずでした。しかし、アダムとエバは神様との約束を破り、神様の下から離れていってしまったのです。神様はどんなにさみしかったでしょうか。そして、この日、神様の子供としてイエス様が誕生したのです。

イエス様が産まれた時、いろいろなところで、奇跡が起きました。ある場所では、羊飼いたちが、夜、羊の番をしていたのですが、そこに、神様のみ使いが現われて「おそれるな。きょう、ダビデの町に神の子がお生まれになった。」と、言いました。驚いた羊飼いたちは、喜んでイエス様のもとにかけつけました。

また、東の国には、星の事を研究している三人の博士たちがいました。

この博士たちは、星の動きを見てこれから起こる出来事を知ることが出来るひとたちでした。いつものように、星空を見ていると、特別に大きく光り輝く星を発見しました。

そして、その大きく輝く星は、自分たちよりも先に進み、イエス様のお生まれになった所で止まりました。

博士たちはイエス様の前にひれ伏して拝みました。そして、黄金、乳香、没薬というプレゼントをイエス様に捧げました。

イエス様が産まれた時、多くの人が喜びました。そして、イエス様が産まれた日を喜ぶことは、今でも行われています。それが、12月25日のクリスマスです。

イエス様が産まれたのは、いまから約2000年前です。

2000年前に生まれた人の誕生日を、世界中の人が、クリスマスとしてお祝いをするのはなぜでしょうか。それは、イエス様が神様の子供だからです。

これから、イエス様が誕生されてから、どのような歩みをされてきたのかを学び、私たちもイエス様のように天の父母様の誇れる子女となっていけるように頑張っていきましょう。